

この説明文書は服用前に必ずお読み下さい。
また必要とき読めるように保存しておいて下さい。

1

がまんできない、つらい痛み

第2類医薬品

ピリン系解熱鎮痛薬 セデス・ハイG

シオノギ製薬

セデス・ハイGは、鎮痛作用の強いイソプロピルアンチピリンをはじめ 4種類の成分を配合することにより、強い痛みにもすぐれた鎮痛効果をあらわします。



使用上の注意

してはいけないこと



(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故がおこりやすくなります)

- 次の人は服用しないで下さい
(1) 本剤によるアレルギー症状をおこしたことがある人
(2) 本剤または他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくをおこしたことがある人
- 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないで下さい
他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗物酔い薬
- 服用後、乗物または機械類の運転操作をしないで下さい (眠気があらわれることがあります)
- 服用時は飲酒しないで下さい
- 長期連用しないで下さい (この薬は痛み・発熱を一時的に抑えるものです)

相談すること



- 次の人は服用前に医師、歯科医師または薬剤師にご相談下さい
(1) 医師または歯科医師の治療を受けている人
(2) 妊婦または妊娠していると思われる人
(3) 高齢者
(4) 本人または家族がアレルギー体質の人
(5) 薬によりアレルギー症状をおこしたことがある人
(6) 次の診断を受けた人
心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍
- 次の場合は、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師または薬剤師にご相談下さい
(1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	悪心・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい

まれに下記の重篤な症状がおこることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けて下さい。

症状の名称	症状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、じんましん、浮腫、胸苦しさなどとともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさがあらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死症 (ライエル症候群)	高熱をともなって、発疹・発赤、やけど様の水ぶくれなどの激しい症状が、全身の皮膚、口や目の粘膜にあらわれる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)などがあらわれる。
ぜんそく	

- 5～6回服用しても症状がよくなる場合

…… 効能・効果 ……

- 頭痛・月経痛（生理痛）・歯痛・神経痛・腰痛・外傷痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛の鎮痛
- 悪寒・発熱時の解熱

…… 用法・用量 ……

次の量をなるべく空腹時をさけて、水またはぬるま湯でのおのみ下さい。
また、おのみになる間隔は4時間以上おいて下さい。

年齢	1回量	1日服用回数
成人（15才以上）	1包	3回を限度とする
15才未満	服用させないこと	

- 定められた用法・用量を厳守して下さい。

…… 成分・分量 ……

セデス・ハイGは、白色の顆粒剤で、1包（1g）中に次の成分を含有しています。

成分	含量	はたらき
イソプロピルアンチピリン（IPA）	150mg	熱を下げ、痛みをやわらげる
アセトアミノフェン	250mg	
アリルイソプロピルアセチル尿素	60mg	痛みをおさえるはたらきを助ける
無水カフェイン	50mg	痛みをおさえるはたらきを助けるほか、頭痛をやわらげる

添加物として 乳糖水和物、ヒドロキシプロピルセルロース、メチルセルロース、含水二酸化ケイ素を含有しています。

…… 保管および取扱い上の注意 ……

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない、涼しい所に保管して下さい。
- (2) 小児の手の届かない所に保管して下さい。
- (3) 他の容器に入れ替えないで下さい。
（誤用の原因になったり、品質が変化します）
- (4) 使用期限をすぎた製品は、服用しないで下さい。



…… お問い合わせ先 ……

本品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店、または下記までお願いいたします。
塩野義製薬株式会社「医薬情報センター」
電話：大阪 06-6209-6948、東京 03-3406-8450
受付時間：9時～17時（土、日、祝日を除く）

「副作用被害救済制度」について
（独）医薬品医療機器総合機構 <http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>
電話 0120-149-931（フリーダイヤル）

…… 包装 ……

セデス・ハイG：6包

®:登録商標

製造販売元

塩野義製薬株式会社
大阪市中央区道修町3丁目1番8号